

編集後記

盛岡赤十字病院紀要誌第27巻をお届けいたします。大変残念なことに長年、図書委員長を務め紀要誌の編集を手がけていらしゃった阿部知博先生が平成30年5月に当院でお亡くなりました。私は先生からこの仕事を引き継ぎさせていただいた後も先生には何かと相談に乗っていただきました。先生は非常に慎重な性格で、ともすると私の行き過ぎた面を常に違った面からご指導いただき非常に助かりました。阿部先生のご冥福を心よりお祈りいたします。紀要誌も今回から若干スタイルを変え、表紙の写真等も変更いたしました。天国の阿部先生にもお届けできるものができたと感じております。投稿してくださった著者並びに編集にご協力いただきましたスタッフの皆様へ感謝申し上げます。

図書委員長 鎌田 弘之

桜の花が一気に咲いて、早々と散って、私は今年の岩手公園と石割桜をめでもなくあわただしく天候不順の春を過ごしていました。今振り返るともう少し腰を据えて、しっかりと論文を書いて投稿できればよかったかなと反省しています。今回はPEGについての私の思いを述べた特別投稿というあまり学術的でない(?)文章を載せていただきました。鎌田委員長(編集長)に感謝いたします。

最後に元図書委員長の放射線科部長阿部知博先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。先生、今度お会いする時はお酒飲みながら(その時飲める世界に私はいるのかな?)音楽の話でもしましょう。あの優しい笑顔で出迎えてください。

図書副委員長 畠山 元

今年も紀要を発行できました。投稿してくださった方々ありがとうございます。図書委員会委員長の鎌田先生、幹事の稲葉さん大変お疲れ様でした。図書委員の皆様ご苦労様でした。

放射線画像診断技術課長 新田 仁

今年も、紀要編集に関わらせて頂くこととなりました。と言いましても、殆ど愛読者の立ち位置で、会議の場で発言させて頂いております。図書委員だからというわけではありませんが、以前より紀要を開く機会が増えました。皆さま、是非手に取って頂ければと思います。

健診部看護師長 阿部 幸子

2005年まで医局にて編集していた紀要を2006年から病院の図書委員会にて編集し発刊することとなり、当時幹事とし、図書委員長の阿部先生と共に広告掲載や診療科以外の統計の掲載などの新しい試みについて検討を重ねたことが、ついこの間のことのように思い出されます。阿部先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

庶務係長 沼田 佳子

今年も多くの方からの研究発表がありました。どの研究も素晴らしい熱意にあふれています。多職種の研究発表を拝見する機会はあまり多くないため、大変勉強になります。きっと多くの方々の参考になることと思います。投稿して下さった方、ご協力いただきました全ての方々に感謝いたします。

薬剤師 丹代 恭太

今回初めて紀要の編集に携わせて頂きました。活動を通して院内の各種学術活動の記録のみならず、全国の赤十字病院の紀要などがWebで“日赤リポジトリ”と検索すると気軽に閲覧できることも知りました。委員長の鎌田先生をはじめ、委員のみなさん一年間お疲れさまでした。

臨床検査技師 境谷 真悟

編集に参加させていただきありがとうございます。完成までに多くの人が携わり、たくさんの時間を費やし生み出されています。さまざまな職種の熱意を感じる一冊となっていますので、ぜひ熟読していただきたいです。

言語聴覚士 川村 恭子

今年度、初めて図書委員となり、病院紀要をどの様にして作っているのかを知ることが出来ました。日々の多忙な業務の中、寄稿して下さった皆様に感謝いたします。委員長の鎌田先生、委員の皆様一年間お疲れ様でした。

技術員 熊谷 明美

毎年4月下旬から5月上旬のこの時期、桜の開花も勿論ですが、編集後記の作成依頼を頂くことで改めて春の訪れを実感致します。今回の紀要Vol.27も、皆様のご協力があつて無事発刊となりました。寄稿・編集にあたられた職員の皆様をはじめとして、図書委員長の鎌田先生、幹事の稲葉さん、たいへんお疲れ様でした。

主事 新澤 真優